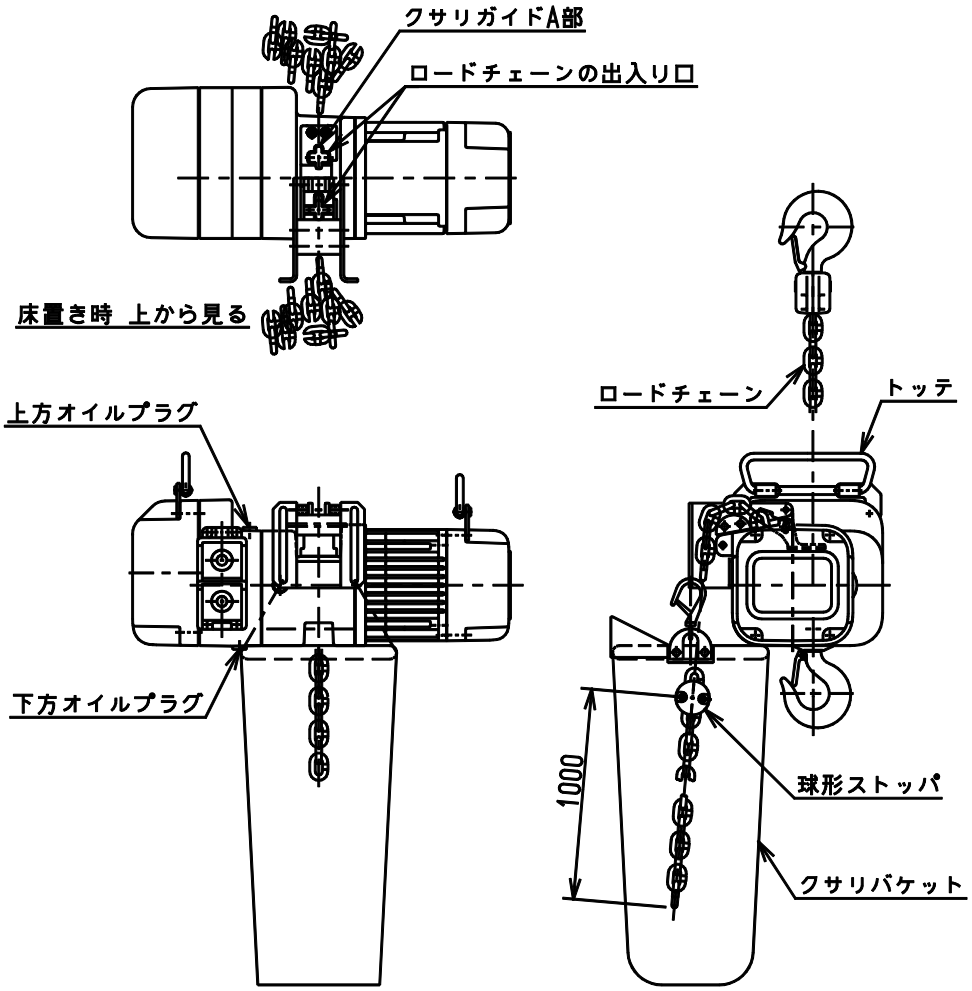
取説No.ERRV-0902-0

＜キトー電気チェーンブロック＞

リ バ ー シ ブ ル 形

（ERRV 形、 ERSR 形）

取 扱 説 明 書



⚠ 注意

◆ この取扱説明書は、リバーシブル形電気チェーンブロックの特有事項を述べております。電気チェーンブロックを安全にご使用いただくための重要な内容等が、電気チェーンブロック取扱説明書にも述べられておりますので、合わせて必ずお読みください。

危険

◆ ロードチェーンの出入り口付近に、手を近づけないでください。

危険

◆ 巻下げ時、球形ストッパ突き当て作業は行わないでください。
特に、荷重を吊った状態での球形ストッパによる巻下停止は厳禁です。

注：運転中の荷重の慣性をストッパ・ロードチェーンで受け、本体・ストッパ・ロードチェーンが破損する事があります。

◆ 揚程が十分あることを確認し、ご使用ください。最下限で、揚程の余裕が 0.5m 以上ある事。

危険

◆ 球形ストッパを取り外したり、取付位置を変えたりしないでください。
ロードチェーンのスムースな動きの為には、ストッパからチェーン端末までの長さが 1000mm 以上必要です。

危険

◆ 「ERRV(3 相 200V/220V シリーズ)の場合」
電源接続時、まずオシボタンの上を押してください。巻上れば正常です。巻下る、又は動作しない時は逆相結線です。その時は電源の３線のうち 2 線を入れ換え、その後オシボタンの上を押し、巻上がる事を確認してください。
本体コントローラ内、及びオシボタン等の線の変更は行わない事。

注：正しく接続されないと、リミットスイッチが作動しなくなり、本体・ロードチェーンを破損する事があります。

危険

◆ 次の場合、必ず電気チェーンブロック以外の吊具で落下防止を行ってください。
１．人が懸垂物の下に入る可能性がある場合。
２．荷を吊ったまま、操作位置から作業者が離れる場合。

注意

◆ 巻上機を床に置いてロードチェーンを動かす作業の際、ロードチェーンを出入り口付近にためない事。ロードチェーンが正常な状態で巻上機に挿入されず、本体・ロードチェーンが破損する事があります。また、出入り口にたまってもつれるのを防ぐ為、ロードチェーンをたぐってください。(手は出入り口に近づけないこと。足でたぐると良い。)

注意

◆ オイル漏れ防止に万全を期すため、下方オイルプラグは緩み止めが施してあり、使用不可です。オイルの注入・注出は、上方オイルプラグをご使用ください。

⚠ 注意

◆ ロードチェーンには、油を必ず塗ってください。ロードチェーン・ロードシーブ・クサリガイドの摩耗を防止し、寿命を延ばします。定期的にロードチェーン・クサリガイドの摩耗をチェックし、損傷が認められた場合には、直ちに交換してください。
クサリガイドＡ部の摩耗限界は、5㎜ です。

⚠ 注意

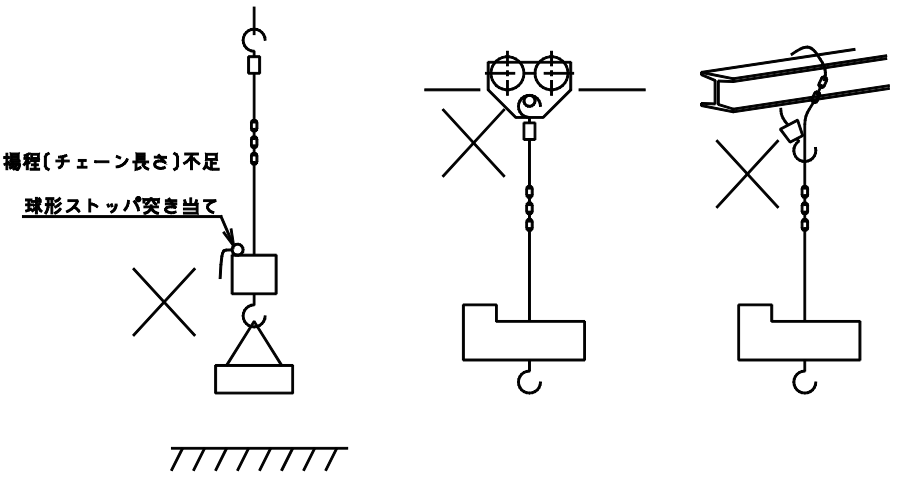
◆ 一台が故障した場合でも、他の製品が過負荷にならないよう、容量に余裕を見てください。

⚠ 注意

◆ トロリに吊るして使用しないでください。

⚠ 危険

◆ 天井の梁などにロードチェーンを巻き付けることは絶対にしないでください。



⚠ 注意

◆ クサリバケットの収納限界長さ（揚程）を表に現しました。ネームプレートＫを確認し、クサリバケットの収納限界を超えた長さのロードチェーンは入れないようにしてください。

定格荷重	形式	ロードチェーン線径	揚程				
			～10m	～15m	～20m	～25m	～30m
250kg	ERRV003S	φ5.0	クサリバケット S		M		
	ERSR003S						
490kg	ERRV004L	φ6.3					
	ERSR004L						
500kg	ERRV005S						
	ERSR005S						
1t	ERRV010L	φ8.0				L	
	ERSR010L						

⚠ 注意

◆ クサリバケットに取り付けられているフックヨケが、逆さ吊り時、巻上機本体の外側になるようにクサリバケットを吊るしてください。（フックヨケは、標準吊りの際シタフックがクサリバケットの中へ入ってしまうのを防止します。）

◆ ロードチェーン端末をフックにて、クサリバケットのツリテ部へ取り付けてください。

◆ 無負荷側ロードチェーンを端末から順序よく入れてください。

◆ 一度にまとめて入れてはいけません。